

2020年度（第44回）

**通 常 総 会 資 料**

千葉県環境計量協会

## 2020年度（第44回）通常総会次第

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、国内でのまん延防止や安全確保の観点から、開催を見合わせる事といたしました。

つきましては、下記事項（第1号～第6号議案）につきまして、ご審議いただきたく別紙委任状の提出をお願いいたします。

### 1. 議 事

第1号議案 2019年度 事業報告

第2号議案 2019年度 決算報告

会計監査報告

第3号議案 規約改正の件

第4号議案 役員改選の件

第5号議案 2020年度 事業計画（案）

第6号議案 2020年度 収支予算（案）

## 2019年度 事業報告

### 1. 会員の状況

退会 正会員 (株)日立プラントサービス

これにより本年度終了時点で、正会員41社、賛助会員10社、合計51社となる。

### 2. 役員の状況

2019年度、小田切副会長が退任した。また、監事の井田様が人事異動により退任し、岩瀬様が就任した。2020年3月31日現在の役員は次のとおりである。

会長	；	福田 茂晴	(東京パワーテクノロジー(株))
副会長	；	野口 康成	((株)太平洋コンサルタント)
総務委員長	；	安田 喜孝	((株)日立産機ドライブ・ソリューションズ)
経営・業務委員長	；	川口 弘樹	(中外テクノス(株))
教育・企画委員長	；	箭内 朋子	(日鉄環境(株))
技術委員長	；	大井 裕之	((株)ユーベック)
広報・情報委員長	；	田中 亮	(イカリ消毒(株))
監事	；	石澤 善博	((株)ダイワ)
監事	；	岩瀬 和哉	(JFE テクノリサーチ(株))

### 3. 会議

(1) 通常総会 (担当 総務委員会)

月 日：平成31年4月24日(水)

場 所：プラザ菜の花

出 席：正会員16社、委任状提出17社、合計33社

内 容：1. 平成30年度 事業報告  
2. 平成30年度 決算報告 同会計監査報告  
3. 平成31年度 事業計画(案)  
4. 平成31年度 収支予算(案)

以上原案どおり承認された。

5. その他

千葉県計量検定所より計量証明書の対象項目について報告された。

(2) 理事会

会務執行のため、次の6回開催した。

- 2019年4月24日 通常総会運営、アンケート（最低制限価格、災害防止協定）、計量証明対象範囲、2019年度活動、監事後任の件等
- 5月24日 合同委員会運営、新任者セミナー等活動計画、アンケート（最低制限価格、災害防止協定）、千環協活動参加会員増対策の件等
- 8月 2日 研修見学会等各委員会活動報告と今後の予定、アンケート（最低制限価格、災害防止協定）、監事後任、小田切副会長退任の件等
- 11月22日 新春講演会、赤本発行、アンケート（最低制限価格、災害防止協定）、千葉県との災害防止に関する合意書締結、来年度の会場選定の件等
- 2020年1月24日 新春講演会運営の件、首都圏連絡会合同研修会の開催、災害防止に関するアンケート(千葉県への協力)、次期役員選任の件等
- 3月19日 通常総会実施方法、災害防止合意書締結、次期役員選任の件等

(3) 合同委員会 (担当 経営・業務委員会)

月 日：2019年5月24日（金）  
 場 所：バーディーホテル千葉  
 出 席：会員19社、人員28名、来賓1名、顧問2名、合計31名  
 内 容：各委員会の活動計画を具体的に討議し、各委員長による活動方針、活動計画の発表があり、承認された。

4. 研修会・講演会

(1) 2019年度経営者・中堅社員向けセミナー (担当 経営・業務委員会)

開催無し

(2) 2019年度新任者教育セミナー (担当 教育・企画委員会)

月 日：2019年6月19日（水）  
 場 所：社団法人日本環境測定分析協会（東環協、埼環協、神環協と合同）  
 出 席：人員19名（首都圏環協連全体 76名）  
 内 容：(一社)日本環境測定分析協会関東支部との共催のもと、東京都環境計量協議会、埼玉県環境計量協議会、神奈川県環境計量協議会と合同にて新任者教育セミナーを開催した。日環協より無償提供（今年度が最後）された新任者テキストにより研修を実施した。

本研修会は定員（８０名）に近い参加をいただき大変好評であった。

- [講義] ①労働安全衛生について  
②環境計量の仕事とは  
③精度よい測定のために

[修了証授与、名刺交換会]

(3) 2019年度(第39回)研修見学会 (担当 教育・企画委員会)

月 日：2019年9月13日(金)

場 所：千葉県立現代産業科学館、サッポロビール千葉工場、谷津干潟自然観察センター

出 席：首都圏環境連との合同研修見学会  
21社、37名(うち 千環協会員7社、人員15名)

内 容：千葉県立現代産業科学館では、千葉県の現代産業の歴史、先端技術への招待、創造の広場の三部で構成された参加体験型の展示によって科学と産業技術の歴史を学んだ。また、青い海と豊かな緑に囲まれた美しいビール工場で、関東エリアに出荷される黒ラベル最大の製造拠点サッポロビール千葉工場の製造工程を見学し、谷津干潟自然観察センターでは埋立てを免れた経緯を知り、干潟の自然や水鳥観察、季節の花々など身近な自然を楽しんだ。

(4) 2019年度技術委員会成果発表会及び実務者技術フォーラム

(担当 技術委員会)

月 日：2019年11月22日(金)

場 所：バーディーホテル千葉

出 席：会員28社、人員41名、来賓者2名、発表者2名、顧問2名

内 容：

(ア) 技術委員会成果発表等

「第40回共同実験 水溶液中の水溶液中の全窒素及び全りん分析」  
結果報告

(株) 環境管理センター 渡部 真妃 様

(イ) 技術事例発表

「橋梁の塗膜調査」

(株) 太平洋コンサルタント 徳永 大祐 様

「JIS K 0102 に採用された卓上サイズの小型蒸留装置と1台で複数の

分析項目に対応できる流れ分析装置（FIA 法）

（株）三菱ケミカルアナリテック 高橋 正輔 様

（ウ）実務者フォーラム

A 共同実験について

B 小型蒸留、流れ分析及び T-N・T-P 小型分解装置について  
（実機展示あり）

（5）新春講演会・賀詞交換会 （担当：総務委員会）

月 日：2020年1月24日（金）

場 所：プラザ菜の花

出 席：会員21社、人員27名、来賓1名、講師2名、顧問2名  
合計32名

内 容：

（ア）第1講演

演題：「災害時におけるアスベスト対策及びアスベストに係る大気  
汚染防止法改正の動向」

講師：千葉県 環境生活部 大気保全課 大気規制班

班長 小松 圭 様

（イ）第2講演

演題：「平成30年度 環境計量証明事業者（事業所）実態調査の  
概要」

講師：一般社団法人 日本環境測定分析協会 関東支部

支部長 津上 昌平 様

## 5. その他の事業

（1）広報・情報委員会

（ア）千環協ニュース（第91号）発行

2019年12月に千環協ニュース第91号を発行した。表紙について、  
提供いただいた写真をカラーで掲載する試みを行なった。

千環協会員、関東近県の県単、官公庁の環境関連部署等、約240箇所に  
送付した。

（イ）下記の2回編集会議を開催した。

月 日：2019年6月22日（金）

場 所：ホテルプラザ菜の花

第1回 編集会議 千環協ニュース発行計画作成

- ・記事の編集要領の説明
- ・全体計画の策定、及び担当記事の確認

月 日：2020年2月14日（金）

場 所：千葉駅前会議室

#### 第2回 編集会議

- ・第92号記事校正
- ・田中委員長退任

### (2) 総務委員会

#### (ア) 第33回ソフトボール大会

月 日：2019年6月29日（土）

場 所：稲毛海浜公園 野球場

天候不順の為、中止となった。

### (3) 経営・業務委員会

#### (ア) 千環協案内の作成・配付

2019年度版千環協案内を作成、会員及び関係機関へ配布した。

（2020年4月に会員、千葉県、地元市町村等 計240部）

### (4) 千葉県との災害防止合意書に関する協議

第1回打合せ 2019年 8月30日（金）

第2回打合せ 2019年11月22日（金）

アンケート調査を8月に実施した。また、協力会員の募集を10月及び1月に実施して、ご協力いただける11社をリスト化して千葉県に提出した。なお、千葉県と2020年3月13日付で合意書を締結した。

### (5) 適正単価への取組み

適正単価への取組みについては、平成22年に「低価格入札に関するアンケート」の結果を踏まえ、千葉県に要望書を提出した。しかしながら、環境分析の分野においては最低制限の導入が遅れていることから、あらためて活動を再開すべく、「業界の抱える問題点に関するアンケートのお願い」を実施した。

## 6. 協力関係

### (1) (一社) 日本環境測定分析協会

千環協より、副会長（野口 康成；(株)太平洋コンサルタント）が関東支部役員として、会務の執行にあたった。

(2) 首都圏環境計量協議会連絡会

本年度は、千環協から5名の委員を派遣し、各種事業に参画、協力した。

(ア) 委員会 4回

月 日：2019年 6月 4日 (火)

2019年 8月22日 (木)

2019年12月18日 (水)

2020年 2月17日 (月)

議 題：1) 各県単の取組紹介  
2) 適正価格制度に対する対応について  
3) 首都圏環境計量協議会の活動（新任者セミナー、研修  
見学会等）

(イ) 環境計量証明事業団体合同研修会（2020年2月17日）

内 容：第1部「災害時の支援協定について」

第2部「県単相互応援協定について」

第3部「適正価格について」

7. その他

・配布資料等

(1) 新任者教育テキスト

(2) 2020年度環境測定技術事例発表会要旨集

(第40回共同実験結果（全室素及び全りん）、技術事例発表会)

(3) 2019年度版千環協案内

(4) 技術講演会資料

(5) 新春講演会資料

・ホームページの活用

協会のPRと会員への情報提供、会員相互の情報交換を実施するため、協会としてのホームページを平成17年度に開設し、協会の活動内容等を広報・情報委員会にて随時更新して掲載した。現在掲載している内容は下記のとおり。

①TOPページ

②協会について（組織、名簿、会則、倫理綱領、役員）

③協会の活動（各委員会の紹介）

④リンク

⑤会員のページ

⑥千環協ニュース（No.77より）



8. 第40回共同実験 参加事業所

(50音順)

- |                            |                       |
|----------------------------|-----------------------|
| (1) イカリ消毒(株)               | (2) (株)出光プランテック千葉     |
| (3) AGC株式会社                | (4) (株)上総環境調査センター     |
| (5) (株)環境コントロールセンター        | (6) (株)環境測定センター       |
| (7) (株)君津清掃設備工業            | (8) (株)ケーオーエンジニアリング   |
| (9) (株)合同資源                | (10) JFE テクノリサーチ(株)   |
| (11) 水 i n g (株)           | (12) (株)杉田製線          |
| (13) (株)太平洋コンサルタント         | (14) (株)ダイワ           |
| (15) (株)千葉分析センター           | (16) 中外テクノス(株)        |
| (17) 東京公害防止(株)             | (18) 東京テクニカルサービス(株)   |
| (19) 東京パワーテクノロジー(株)        | (20) (株)永山環境科学研究所     |
| (21) 日廣産業(株)               | (22) 日鉄環境(株)          |
| (23) 日鉄テクノロジー(株)           | (24) (株)日本環境分析センター    |
| (25) (株)日本公害管理センター         |                       |
| (26) (株)日立産機ドライブ・ソリューションズ  |                       |
| (27) (株)日立プラントサービス         | (28) (公社) 船橋市清美公社     |
| (29) (株)古河電工アドバンストエンジニアリング |                       |
| (30) (株)三井 E&S テクニカルリサーチ   | (31) (株)三井化学分析センター    |
| (32) (株)ユーベック              | (33) 菱冷環境エンジニアリング株式会社 |

注) 申込み時点での登録社名です。

第2号議案

2019年度 収支決算書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

単位：円

科 目	予 算 ①	決 算 ②	差 額 ②-①
[収入の部]			
前期繰越金	606,968	606,968	0
会費	2,600,000	2,600,000	0
雑収入	0	18	18
収入計	3,206,968	3,206,986	18
[支出の部]			
(事業費)	(1,250,000)	(1,209,623)	(▲ 40,377)
研修見学・講演会	150,000	150,000	0
協力関係費	350,000	317,390	▲ 32,610
委員会活動費	750,000	742,233	▲ 7,777
(会議)	(150,000)	(172,061)	(22,061)
(事務費)	(1,137,000)	(1,188,099)	(51,099)
印刷費	120,000	112,710	▲ 7,290
通信費	300,000	329,697	29,697
消耗品費	10,000	38,692	28,692
事務委託費	707,000	707,000	0
(雑費)	(110,000)	(104,036)	(▲ 5,964)
雑費	10,000	4,036	▲ 5,964
記念事業準備金	100,000	100,000	0
支出計	2,647,000	2,673,819	26,819
来期繰越	559,968	685,804	125,836
特別会計調整分	0	▲ 152,627	▲ 152,627
(積立金残高)	(300,000)	(300,000)	0
合 計	3,206,968	3,206,986	18

(備考) 来期繰越金額に、積立金残高は含んでいない。

【気付き】

委員会活動費：ソフトボールの開催が中止となっております。


会議費：千葉県との協議やアンケートの関係があります。

特別会計調整分：赤本作製において期ずれが発生しております(昨年度赤本印刷代を計上し、会員からの請求分を今年度に計上したため)。

## 監査報告書

平成31年度収支決算書について詳細に監査した結果、適正であることを認めます。

2020年4月10日

監事 岩瀬 和哉 

(規約改正の件)

千環協規約では、理事および監事は正会員の中から選出することになっております(第10条)。しかしながら、正会員減少の中で当該役員を正会員だけで募るのは難しい状況にあります。

つきましては、下記の通り規約を改正し、賛助会員においても役員選出対象(ただし、会長及び副会長を除く)といたしたく、ご審議のほどお願いいたします。

改正後	改正前
(役員の選出) 第10条 <u>理事及び監事は総会において会員中より選出する。ただし、会長及び副会長は正会員中より選出する。なお、任期途中にて同一会員事業所内での役員の交代については、理事会にて承認する。</u>	(役員の選出) 第10条 理事及び監事は総会において正会員中より選出する。ただし、任期途中にて同一会員事業所内での役員の交代については、理事会にて承認する。

第4号議案

(役員改選の件)

2020年度役員候補(案)

会長	；	福田 茂晴	東京パワーテクノロジー(株)	(留任)
副会長	；	平山 千恵子	(株)加藤建設	(新任)
副会長	；	野口 康成	(株)太平洋コンサルタント	(留任)
総務委員長	；	安田 喜孝	(株)日立産機ドライブ・ソリューションズ	(留任)
経営・業務委員長	；	川口 弘樹	中外テクノス(株)	(留任)
教育・企画委員長	；	箭内 朋子	日鉄環境(株)	(留任)
技術委員長	；	野田 典広	基礎地盤コンサルタンツ(株)	(新任)
広報・情報委員長	；	柴田 美保子	(株)コスモス	(新任)
監事	；	田辺 善昭	(株)三井E&Sテクニカルリサーチ	(新任)
監事	；	岩瀬 和哉	JFEテクノリサーチ(株)	(留任)
顧問	；	内野 洋之		

## 2020年度 事業計画（案）

### 1. 研修会・講演会等の実施

技術の習得や、知識の向上を図るため、研修見学会、講演会等を実施する。

### 2. 技術事例発表会、新任者教育、会員交流会の実施

技術委員会の下に、共同実験活動を行い、その研究成果を発表するとともに、会員による測定分析についての技術事例発表会を実施する。また、新任者教育、会員交流会、勉強会を適宜開催する。

### 3. 共同実験と実務者技術フォーラムの実施

会員相互の技術レベルの向上を図るため、共通試料を用いた共同実験を行い、その結果を基に、実務者同士の意見・情報交換会（技術フォーラム）を実施する。

### 4. 情報の収集と提供

官公庁、日環協、首都圏環協連等から関連情報の収集に努め、研修会、会誌等を通じて会員に提供する。また、会員への情報提供、協会活動のPR、会員相互の情報交換のためにホームページを活用する。

### 5. 協力関係

日環協関東支部、首都圏環協連等の関連団体の各事業に参画し、リスクに対する協力関係のあり方等の情報を収集して会員各社に提供する。

### 6. 親睦関係

会員相互の親睦を深めるため、ソフトボール大会等を開催し、交流する場を設ける。

### 7. 入札制度改善要望関連

国や周辺自治体における情報を収集し、日環協、首都圏環協連等と連携した活動を行う。また、会員へのアンケート調査を実施して、意見要望に沿った適切なフォローを実施する。

### 8. 会員を増やすための取組み

正会員、賛助会員にとってメリットのある活動を提案・推進し、当協会のPR・普及に努める。

第6号議案

2020年度収支予算（案）

（2020年4月1日～2021年3月31日）

単位：円

科 目	予 算	摘 要
[収入の部]		
前期繰越金	685,804	
会費	2,550,000	会員数 51
雑収入	0	
収入計	3,235,804	
[支出の部]		
(事業費)	(1,250,000)	
研修見学・講演会	150,000	
協力関係費	350,000	
委員会活動費	750,000	
(会議)	(150,000)	
(事務費)	(1,140,000)	
印刷費	120,000	
通信費	300,000	
消耗品費	10,000	
事務委託費	710,000	
(雑費)	(110,000)	
雑費	10,000	
50周年記念事業費	100,000	
支出計	2,650,000	
来期繰越	585,804	
特別会計調整分	0	
(積立金残高)	(400,000)	
合 計	3,235,804	

（備考）来期繰越金額に、積立金残高は含んでいない。

## 第 1 章 総 則

### (目的及び基本理念)

第 1 条 本会は環境計量に関する技術の向上と、会員相互の親和と親睦に努め、かつ関係諸機関との連携を密にし、環境計量証明事業の正しい発展を図ることを目的とする。また、別途定める倫理綱領に基づき、環境計量証明事業者として継続的に信頼性を確保し、社会的責任を果たすことを基本理念とする。

### (名 称)

第 2 条 本会は千葉県環境計量協会と称する。

### (事 務 所)

第 3 条 本会は事務所を千葉県内におき、所要の職員をおくことができる。

### (事 業)

第 4 条 本会は第 1 条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 環境計量証明事業の進歩改善に関すること
- (2) 環境計量技術の向上に関すること
- (3) 環境計量に関する教育・訓練・指導に関すること
- (4) 環境計量に関する情報、資料を収集し提供すること
- (5) 官公庁及び関連団体との連絡協調をはかること
- (6) その他目的を達成するために必要な事項

### (会 員)

第 5 条 本会の会員は、正会員、賛助会員により構成する。

2.

正会員は千葉県に登録した濃度、特定濃度、音圧レベル、振動加速度レベルに係る計量証明事業者で、本会の趣旨に賛同する法人とし、総会における議決権を有する。

3.

賛助会員は、前項以外で本会の目的、事業に賛同する法人とする。

### (入 会)

第 6 条 入会を希望するものは、別に定める入会届けを本会に提出し、理事会の承認を得なければならない。

### (退会及び休会)

第 7 条 会員が本会を退会または休会しようとするときは、事前に別に定める文書をもって本会に届出なければならない。

2.

会員が次の事由のいずれかに該当する場合は、理事会の決定により本会を退会または休会とするものとする。なお、理事会の退会または休会決定について、会員より疑義の申し出があった場合は、総会議事



にて決定する。

また、休会後の会員の再入会については、理事会にて決定する。

- (1) 本会の目的及び基本理念に反する行為をしたとき
- (2) 本会の名誉を毀損したとき
- (3) 会費を滞納したとき
- (4) 会員である法人等が解散したとき

(入会金及び会費)

第 8 条 会員は、以下に定める入会金及び会費を納入しなければならない。なお、すでに納入した入会金及び会費については、退会等の理由にかかわらず、返還しない。

- (1) 入会金 10,000 円
- (2) 会 費 50,000 円  
ただし、年度の途中で入会した場合は、理事会で承認を受けた翌月からの月割りとする。

## 第 2 章 役 員

(役 員)

第 9 条 本会に次の役員をおく。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 3 名以内
- (3) 理 事 若干名
- (4) 監 事 2 名

(役員を選出)

第 10 条 理事及び監事は総会において会員中より選出する。ただし、会長及び副会長は正会員中より選出する。なお、任期途中にて同一会員事業所内での役員交代については、理事会にて承認する。

(役員職務)

第 11 条 会長は会を代表して会の業務を統括する。

2.

副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

3.

理事は業務の円滑な選管にあたる。

4.

監事は会計を監査する。

(役員任期)

第 12 条 役員任期は 2 年とする。ただし再任を妨げない。

2.

役員に欠員が生じたときはこれを補充するものとし、補充によって選出された役員任期は前任者の残任期間とする。

(顧問)

第 13 条 本会に顧問をおくことができる。顧問は理事会において推薦した者を会長が委嘱する。

2.

顧問は本会の運営又は事業会務につき、会長の諮問に応ずる。

3.

顧問任期は、役員任期に準ずる。

第 3 章 会 議

(会議)

第 14 条 会議は総会及び理事会とする。また必要に応じて専門委員会を設けることができる。

(総会開催)

第 15 条 総会は通常総会と臨時総会とし、通常総会は毎年 1 回以上開催する。

臨時総会は会長が必要と認めるとき開催する。ただし会員の 3 分の 1 以上から要請があった場合は総会を開催しなければならない。

(総会成立)

第 16 条 総会は正会員の 2 分の 1 以上の出席により成立する。ただし委任状を提出したものは出席者とみなす。

第 17 条 総会の議事は出席正会員の過半数で伏する。可否同数のときは議長の決するところによる。

(議長)

第 18 条 総会の議長は会長がこれにあたる。

(総会議決事項)

第 19 条 総会は次の事項を議決する

(1) 事業計画及び収支予算

(2) 事業報告及び収支決算

(3) 規約の変更

(4) その他理事会において必要と認められた事項

(理事会開催と議事)

第 20 条 理事会は会長が必要と認めるときに開催し、規約に定めてある事項の他、次の事項を議決する。

## 千葉県環境計量協会規約

- (1) 総会の議決した事項の執行に関すること
- (2) 総会に付議すべきこと
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関すること

2.

理事会の構成員は、会長、副会長、理事とし2分の1以上の出席により成立する。

3.

理事会の議事は出席理事の過半数で決する。

4.

理事会の議長は会長がこれにあたる。

## 第 4 章 資産会計等

(経 費)

第 21 条 本会の経費は会費その他の収入をもって充当する。

2.

入会金、会費については理事会の議を経て総会で決定する。また必要ある場合は臨時会費を徴収することができる。既納の入会金、会費は返還しない。

(資産の管理)

第 22 条 本会の資産の管理及び運用に関して必要な事項は理事会において別に定める。

(事業年度)

第 23 条 本会の事業年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(予算及び決算)

第 24 条 本会の収支予算及び決算は理事会の同意を得て会長が作成し、決算については監事の監査を受けた後、ともに総会の議決を得なければならない。

## 第 5 章 雑 則

(解 散)

第 25 条 本会は理事の3分の2以上の同意を得、総会において正会員の3分の2以上の賛成により議決した場合は解散する。

(施行細則)

第 26 条 この規約の施行についての細則は理事会において別に定める。

## 附 則

この規約の改正は平成6年4月28日から施行する。

この規約の改正は平成19年4月21日から施行する。

この規約の改正は2020年4月24日から施行する。